

子育て ひとりで 悩んでいませんか？

地域全体で子育て家庭を支え合い、播磨町で子育てをしたい、してよかったと思えるまちにするために、町では、播磨町次世代育成支援行動計画策定委員会を設置し、先に実施した「子育てに関するアンケート」調査の結果（抜粋）をもとに、播磨町次世代育成支援行動計画の策定に取り組んでいます。調査報告書は地域福祉課の窓口で閲覧いただけます。

▶ 問い合わせ 地域福祉課 ☎0794(35)2361

1 保護者の子育ての状況

〔1〕保護者の心身の状況など

・ 夫だん、夫婦（パートナー）間で子育てについて話し合っている家庭では、「ゆったりとした気分」で子どもと過ごせる時間や「自分のために使える時間を持つ」と「がある割合が高く、「子育てに自信が持てない」「子育てに不安や負担を感じる」「何もやる気がおきない」の割合は低くなっています。

・ 子育てに不安や負担を感じている保護者のほうがそうでない保護者に比べ、「ゆったりとした気分」で子どもと過ごせる時間や「自分のために使える時間を持つ」と「がある割合は低く、「子育てに自信が持てない」「何もやる気がおきない」の割合が高くなっています。

〔2〕子育てサークルなど自主的活動への参加状況

・ 5歳児までの保護者が現在、サークル活動に参加している人は17.0%で、今後機会があれば参加したいという人は14.2%となっています。

・ 小学校児童の保護者の場合、活動への参加者は半減し、参加意向も5歳児までの保護者に比べ少なくなっています。

・ いずれの保護者も半数前後は「活動場所の提供」を支援として求めています。

2 保護者と子どもの かかわり合いの状況

〔1〕子育てに関する話し合いの程度

・ 夫婦（パートナー）間で、子育てについて話し合っているという家庭は6割を超えており、「話し合っていない」は1割未満と少なくなっています。

・ 年齢（学年）が高くなるほど、「話し合っている」割合は減少傾向がみられます。

・ 小学生児童がいる保護者と、子どもとの会話状況を見ると、父親が子どもと会話する頻度は、「9歳以上」が49.5%であるのに対し、母親の場合は91.9%で倍近くの格差があります。

〔2〕父親の家事や子育てへの参加状況

・ 食事を作ったり、洗濯や掃除など家事に「ついで」で「全」が半数前後を占め、「あまりしない」を加えると、いずれも「父親は参加していません」が1割以上、子どもの食事を世話をしたと一緒に風呂に入ったりすることや、子どもと一緒に遊ぶことについては、父親の参加率は高くなっています。



・ いずれの年齢も「子どもが安心して遊べる場所」が最も多く、特に3〜5歳児の割合が65.0%で高くなっています。また、「公園整備、歩道の整備などまちの環境整備」の割合も他の年代に比べて高くなっています。

・ 「パートの待遇向上や中途採用などを含む再就職支援」や「親子で楽しめる朗読会、観劇、音楽会などの催し」の割合は、1〜2歳児が高くなっています。

〔1〕充実を望む子育て支援策

3 地域の生活環境

子どもと外出の際、困ることや困ったこと

・ 子どもを巻き込む犯罪や事故などの増加を背景に、まちの安全性の確保を望む声とともに、歩道の整備や段差などのバリア（障害）の解消などが求められています。

〔2〕子どもの健全育成を支援するために自らできること（小学校児童のみ）

・ 「犯罪や事故などに巻き込まれないよう、地域の子どもの安全を確保するための活動を行う」が（28.8%）最も多く、次いで「子どもの悩みや心配」の相談にのる（19.2%）、「土曜日・日曜日にスポーツやレクリエーション活動の指導をする」（9.3%）などとなっています。



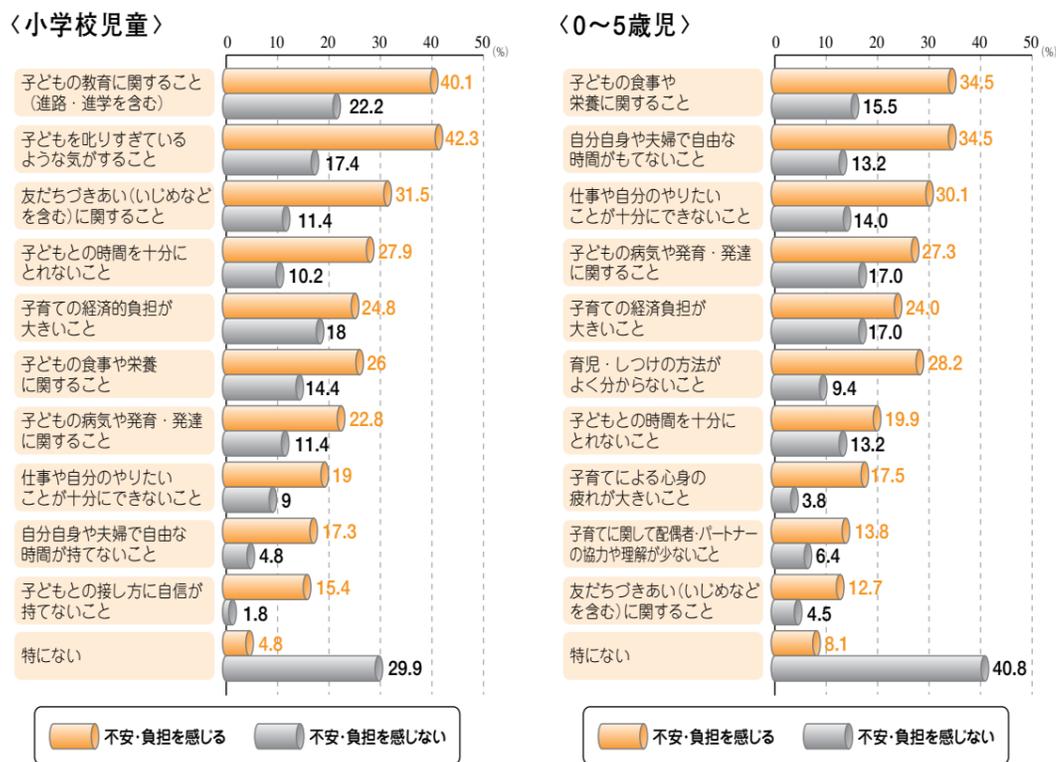
▲播磨町次世代育成支援行動計画策定委員会の様子
委員会は学識経験者や保護者関係者、一般住民など20人で構成されています。

〔3〕子育てに関する悩みごとや困りごと

・ 結果は左表の通りで子育てに不安や負担を感じていない保護者は悩みや困りごと

がないうつ回答が多く、いずれの項目も不安や負担を感じている保護者の割合のほうが高くなっています。

子育てに関する悩みごとや困りごと（上位10項目）



子育て井戸端会議開催



11月9日（火）、子育て中の親たちがざっくばらんに話し合う「子育て井戸端会議」が子育て支援センターにて開催されました。

「子育てが〇〇だったらもっと楽しいのになあ〜」「私が〇〇だったらいいなあ〜」などの質問に思いつくまま書き出し、グループで話し合いました。

「自分の時間がない」「ゆとりを持って子どもに接したい」「子どものことでは些細なことでも悩んでしまう」など思いは様々。

参加者からは、「話してみても悩んでいるのは私1人ではないと気が楽になった」、「子どもが小さい時は大変だけれど、今しかできないことを十分に楽しみたい」という感想が聞かれました。